

複数税率 混乱の極み

テイクアウトは8%でイートインは10%…複数税率で混乱は必至。ポイント還元やプレミアム商品券にも批判が相次いでいます。政府の対策費用は2兆円超。増税分をもどすぐらいなら、消費税を増税しなければいいじゃないですか。

「軽減税率」でも格差拡大

政府は「軽減税率」といっていますが、8%に据え置くだけ。しかも格差は一層広がります。年収に対する消費税の負担率は、現行の8%でも年収200万未満の人は年収2000万円以上の人より7.4%も重い。それが10%に増税されると「軽減税率」を実施しても8.7%に拡大します。

高級肉すえおき 牛丼は増税

「外食」は“ぜいたく”とされ、「軽減税率」の対象外。そのため100円数千円のブランド牛肉を買っても8%なのに、一杯400円程度の牛丼を店で食べると10%です。

対象? 対象外? で混乱

- ▶小売店で買った食品を備え付けのテーブルで食べる
→10%＝「外食」に当たるため
- ▶映画館の売店の飲食料品→8%＝店頭で飲食料品を販売しているだけだから
- ▶そばの出前、ピザの宅配→8%＝客が指定した場所に届けるだけだから

ちょっと待った!!

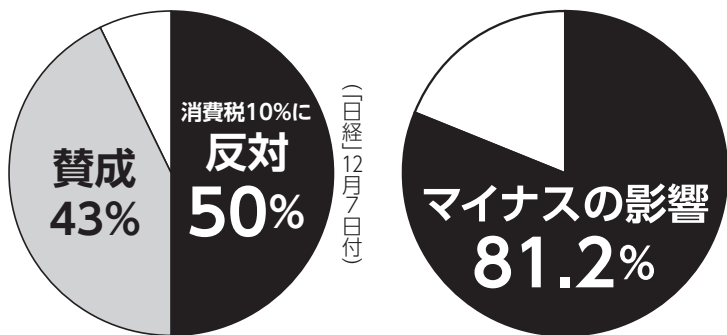
やっちゃいけない
消費税10%

今こそ声をあげよう

日本共産党

安倍首相が表明した、来年10月の消費税率10%。今のままでは、景気が落ち込み、大混乱は必至です。来年10月からの増税ストップの一点で、世論をひろめましょう。

世論の多数は反対



「あなたの懐は潤っていますか?」——消費税8%への増税で個人消費は急落し、今なお低迷。こんな時に10%増税をしていいのか。世論調査でも半数が反対（左グラフ。小売業者の8割以上が悪影響と回答しています（右グラフ）。

**一番の景気対策は
消費税増税をしないこと**

財源はある

大企業にせめて 中小企業並みの法人税率	4兆円
大株主優遇税制の是正	1.2兆円

財源というなら、これまで優遇され、莫大なもうけを上げている大企業やカルロス・ゴーン前日産自動車会長のような富裕層に応分の負担を求めれば、10%増税分の4兆6,000億円はクリアできます。

社会保障のためと いいながら 大企業減税の穴埋めに

消費税	372兆円
法人3税 減税	291兆円

「社会保障のため」と消費税が導入されて30年。この間、国民から372兆円も吸い上げて、その大半は法人税減収の穴埋めにまわされました。おかげで大企業のため込みは史上空前に。一方、医療も介護も年金も福祉も悪くなるばかりです。